



大洪水の記憶もはるか遠くに消えかかった頃、人口が増え、一国で収まらなくなり、神は人間に世界各地に移り住むよう命じた。その時、神はそれぞれの民族に独自の言語と特別な宝物を与えることにした。

神から、どんな宝物が欲しいかと尋ねられて、最初に来た民族は、ミルクと蜂蜜がいっぱいの豊かな土地を求めた。次に来た民族は、世界を支配できるような強さと力を求めた。三番目に来た民族は、世界中から称えられるような栄誉を求めた。こうして次々に来る諸民族に、神は贈物を全部ふるまった。そして最後にやってきたのはスロヴァキア人だった。彼らは恭しく神の前に歩み寄ったが、それまでに来た諸民族と比べて、最も人数が少なかった。神は彼らに、なぜ一番遅く来たのかと問うた。神様、私たちは小さな民族なので、大きな民族に押しのけられ、前に出られませんでした。と彼らは答えた。次に、神は彼らに、何を所望するかと尋ねた。私たちが望むものはただ一つです。それはあなたの愛です。と彼らが答えると、神はよろしい、それでは汝らには愛を与え、汝らを永遠に愛するとしようと語った。—中略— 今、汝らにこの

世で最も美しい言葉、スロヴァキア語を授けよう。—中略— 汝らにこの美しい歌を与えよう。この歌を女たちが歌うとき、鳥はさえずりをやめ、小川はきらめき、丘は踊り、汝らの国は天国に変わるであろうと —中略— 汝らには我がついていると。(『スロバキア熱』 石川晃弘 海象社)

全ての民族は美しく、伝統を有し、人々は日々の暮らし、平和を希求している。カルパチア山脈の麓の村々を廻り、はるかかなたに広大な大地が広がっていた。ウクライナだと地元の人という。どこか親し気であった。

ロシアもナチスの侵略に抗し、レニングラード包囲戦を誇りを持って守り抜いた。ショスタコーヴィッチの交響曲をめぐる物語には胸を打たれる。

それゆえに悲しむ。  
他国への侵略を止めよ。  
民族、人々を尊重せよ。  
民族、人々を尊重せよ。  
戦争を止めよ。

## お知らせ

### 感染症情報

#### 所管課よりお知らせ

※ 新型コロナウイルス感染症関連の対応の為、当分の間週報の還元を休止させていただきます。申し訳ございませんが、ご了承の程よろしくお願い致します。

なお、沖縄県感染症情報センターでも沖縄県の感染症情報を更新しておりますのでご確認下さいませよう、宜しくお願い致します。

【 <https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/eiken/kikaku/kansenjouhou/home.html> 】

